

624. 超越直徑ト Koebe ノ定理 (續)

井上 正雄 (阪大)

談話 622 = 對スル簡單ナル補足デアル。

前号 = フイテハ Koebe ノ定理ト超越直徑 = 關スル
一ツノ *minimumproblem* トノ *Äquivalenz* ヲ
示シテオイタノデアルガ、今コレヲ少シク一般化シテ見マウ。
前談話 = フイテハ¹⁾

- (I) 任意ノ二点
- (II) 円ト円外ノ一点
- (III) 單一連続閉曲線 (テ囲マレタ開領域)²⁾ト外部ノ
一点

トヲ夫々一ツノ *Kontinuum* デ接続シ、ソノ超越直徑ヲ最
小ナラシメルニハ如何ナル *Kontinuum* デ接続スレバヨ
イカ? ト云フ問題ヲ考ヘタノデアルガ、コノ談話デハ一点
ヲ更ニ一般化シテ互ニ外部ニアル單一連続閉曲線ヲ一ツノ
Kontinuum デ接続シ、ソノ超越直徑ヲ最小ナラシメル
モノヲ求メヨウ。

ソノタメ最初

1) スベテ有限ノ位置ニアルモノトス。

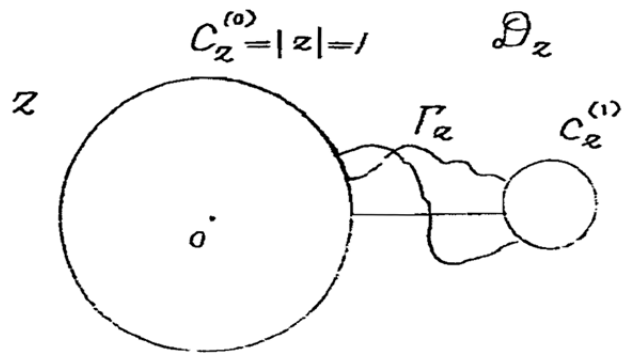
2) 單一連続閉曲線ノ超越直徑モ、之レニテ囲レタ開領域ノ超越
直徑モ等シイコトが知レテイル。尚コノ曲線ニ對スル條件ニ以
下ニ當ニ一ツノ *Kontinuum* デ置キ換ヘラレル。

(IV) 互 = 外部 = アルニ円

ヲ接続スル場合ヲ考ヘル。

之平面上ノ互 = 外部 = アルニ円周ヲ $C_z^{(0)}, C_z^{(1)}$ トシ、之レニテ囲マレタ ∞ ノ内点トシテ含ム無限二次連結領域ヲ D_z トスル。

尚接続 = ヨル超越直径ヲ最小ナラシメルモノヲ求メル問題ハ圖形ノ移動 & 相似縮小 = ヨツテ不変デアルカラ、 $C_z^{(0)}$ ガ之平面ノ單位円周デアリ、 $C_z^{(1)}$ ノ中心が実軸上 = アルモノト假定シテモ何等一般性ヲ失ハナイカラ、此ノ假定ノモト = 話ヲ進メル。

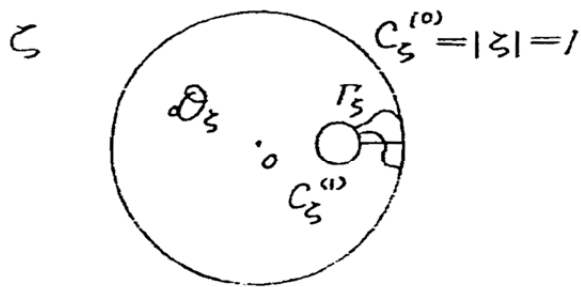


先ヅ $\zeta = \frac{1}{z}$ ナル

Inversion テ D_z ヲ

ζ 平面上ノ單位円内ノ領域 D_ζ = 変換スル。

$C_z^{(1)}$ ノ Bildkreis ヲ $C_\zeta^{(1)}$ トスル。

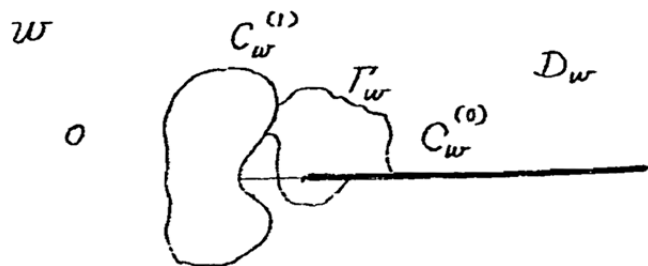


コノ D_ζ ヲ更ラ =

Koebe, Extremalfunktion

$$w = \frac{\zeta}{(1+\zeta)^2}$$

= ヨツテ w 平面上ノ



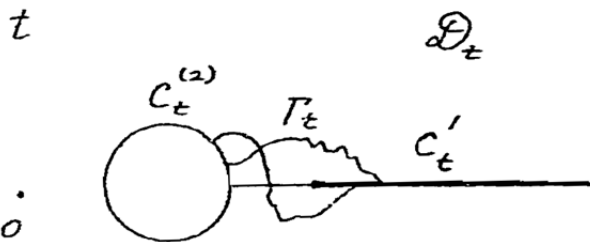
領域 $D_w =$ 変換スル。

コレ = ヨリ $|z|=1$ ($C_z^{(0)}$, Bildkurve) ハ
 $|w| \geq \frac{1}{4}$, $\arg w = 0$ ナル実軸上ノ半直線 = 移サレ, $C_z^{(1)}$
 , Bildkurve $C_w^{(1)}$ ハ実軸 = 對シテ對稱ナ且ツ之レ = 直
 交スル單一閉解析曲線トナル。

依ツテ更ニ之ノ曲線ガ円周トナル如ク D_w ヲ t 平面上ノ
 次ノ如キ領域 $D_t =$ 原点同志相對應スル如ク変換スルコト
 ガ出來ル。

$C_w^{(0)}$ ($|w| \geq \frac{1}{4}$, $\arg w = 0$) , Bild が $C_t^{(0)}$ ($|t|$
 $\geq \delta$, $\arg t = 0$) トナル。但シ δ ハ寫像函数 = 關係ス
 ル正ノ常数, 且ツ $C_w^{(2)}$, Bild ハ中心ガ実軸上 = アル円
 周 $C_t^{(2)}$ トナル。

サテ $C_z^{(0)}$, $C_z^{(1)}$ フー
 ツノ單一連続閉曲線³⁾ Γ_z
 テ接続シ, コレノ各寫像
 函数 = ヨル Bild Γ_w ,
 Γ_t トスル。



Γ_w , Γ_t トスル。

$\Gamma_t =$ ヨツテ $D_t =$ Schlitz ヲ入レテ出來ル單一連結
 領域ヲ Θ_t トスル。

Θ_t ヲ ∞ 平面上ノ單位円内 = 原点同志對應スル如ク等
 角 = 寫像スル。

3) カール曲線 = ノミツイテ考ヘレバヨイコトハ超越直径ノ單
 調性ヨリシテ明カデアアル。

シカルトキ前談話 = フケル *Fekete* の定理 = ヨリ

$$\left| \frac{dx}{d\zeta} \right|_{\zeta=0} = d(C T_0 \vartheta_\zeta) = d(C \vartheta_z),$$

コト = ϑ_ζ の ϑ_t の Urbild デアリ ϑ_z の $D_z = \Gamma_z =$ 沿
ツツ *Schlitz* フ入レタ領域デアル。

且ツ $\left| \frac{dx}{dt} \right|_{t=0} = d(C T_0 \vartheta_t)$

トナル。

シカル =

$$\left(\frac{dx}{d\zeta} \right)_{\zeta=0} = \left(\frac{dx}{dt} \right)_{t=0} \left(\frac{dt}{dw} \right)_{w=0} \left(\frac{dw}{d\zeta} \right)_{\zeta=0}$$

デアリ $\left| \frac{dt}{dw} \right|_{w=0}$, $\left| \frac{dw}{d\zeta} \right|_{\zeta=0} (\neq 0)$ の $\Gamma_z (\Gamma_\zeta, \Gamma_w, \Gamma_t) =$

ハ無関係ナ因数デアルカラ

$$\left| \frac{dx}{d\zeta} \right|_{\zeta=0} (= d(C \vartheta_z))$$

ヲ最小ナラシメルハ

$$\left| \frac{dx}{dt} \right|_{t=0} (= d(C T_0 \vartheta_t))$$

ヲ最小ナラシムレバヨイ。

シカル = $C T_0 \vartheta_t$ の円ト外部ノ一点トヲ接続シタモノ
= 他ナラナイカラ, コレハ (II) = ヨツテ既ニ解決シテオイタ
コノ円ノ中心ト外部ノ点トヲ結ブ線分 = 沿ツテ接続シタモノ
が最小トナリ且之レニ限ツタノデアル。

ヨツテ之レ、*Urbild* トシテ得ラレル h_2 (之平面上
 1) = テニ円周 $C_2^{(0)}$, $C_2^{(1)}$ ヲ接続シタモノガ求メルモノデア
 アル。コレハ取りモ直サズ $C_2^{(0)}$ ト $C_2^{(1)}$ トノ中心ヲ結ブ線
 分 = 沿ツテニ円周ヲ接続スル場合デアアル。

ヨツテ問題ヲ次ノ如ク解クコトが出来タ。

「互ニ外部ニアルニ円周ヲーツノ *Kontinuum* デ接続
 シテ、ソノ超越直径ヲ最小ナラシメルモノハ、両円ノ中心
 ヲ結ブ線分 = 沿ツテ両円ヲ接続シタトキデアアリ、且ツコノ
 トキニ限ル」

サテ、次ニ z 平面上ノ

(V) 互ニ外部ニアル單一連続閉曲線 $C_y^{(0)}$, $C_y^{(1)}$

ヲーツノ *Kontinuum* デ接続スル場合ハ次ノヤウニ考
 ヘレバヨイ。

$C_y^{(0)}$, $C_y^{(1)}$ ヲ境界ニモツ ∞ ノ内点トシテ含ムニ次連
 結領域ヲ D_y トシ、 D_y ヲ z 平面上ノ無限ニ次連結領域 D_z
 ニ ∞ 同志ガ對應スル如クニ等角ニ寫像スル。

コトニ D_z ハ前述セシモノト同一ノ性質ヲ有スルモノ
 トスル。

カナル寫像函数ハ先ヅ D_y ヲーツノ円環内ニ寫像シテ後
 ∞ ノ *Bildpunkt* ガ再ビ ∞ ニ移ル如ク z 平面上ニ
Inversion ヲ施シ、シカル後増減ヲ加減乗除スルコ
 トニヨツテ得ラレル。

$C_y^{(0)}$ ト $C_y^{(1)}$ ヲーツノ單一連続曲線³⁾ Γ_y = テ接続シ、
 Γ_y ノ *Bildkurve* ヲ Γ_z トスル。 $D_y = \Gamma_y$ = 沿ツテ

Schlicht, λ ヲ單一連結領域ヲ D_y トスル。

同様 $D_z = T_z =$ 沿ツテ Schlicht, λ ヲ領域ヲ D_x トシ、之ヲ前同様 $|x| < 1 =$ 等角 = 寫像スル。

カクテ D_y ヲ $|x| < 1 =$ 等角 = 寫像スル函数が得ラレ
ル。

$y \leftrightarrow z$ + λ 変換, $z = \infty$
ノ近傍 = λ ケル展開ヲ

$$y = \lambda z + \lambda_0 + \frac{\lambda}{z} + \dots$$

トシ、 $z \leftrightarrow x$ + λ 変換ヲ

$$z = \frac{\tau}{x} + \tau_0 + \tau_1 x + \dots, \quad |x| < 1$$

$$\text{但シ } \tau = d(C \cap D_z)$$

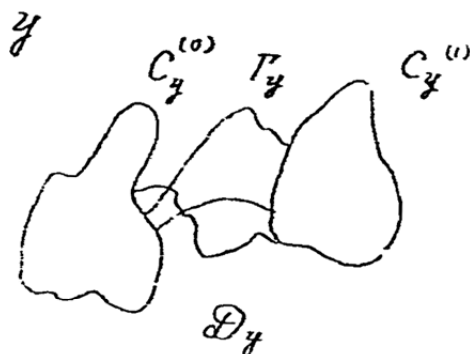
トス。

シカラバ $y \leftrightarrow x$ + λ 変換ハ

$$y = \frac{\lambda \tau}{x} + C_0 + C_1 x + \dots, \quad \text{但シ } \lambda \tau = d(C \cap D_y)$$

トナル。

シカル = λ ハ $T_y =$ 無関係ナ因数ナル故 $d(C \cap D_y)$ ヲ
最小ナラシメル = ハ $\tau = d(C \cap D_z)$ ヲ最小ナラシメルバヨ
イ。コレハ既 = 解決シタ如ク二円 $C_z^{(0)}, C_z^{(1)}$ ノ中心ヲ結ブ線
分 = ヲツテ両円同ヲ接続シタ場合デアリ、且ツコノトキ = 限
ル / デアルカラ、之レノ Urbild トナル連続曲線 = $C_y^{(0)}$,

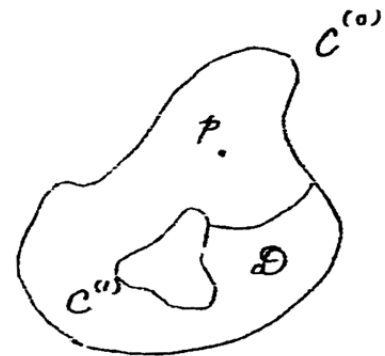


$C^{(1)}$ が接続シタトキニ, ソノ起趣直徑が最小ニナリ且ツコ
ノトキニ限ルノデアル。

コレデ一般ノ場合ノ求メ方が解ツタ。

以上ノコトヲ *Abbildungsmodul* ノ問題ニ
直セバ

「單一連続閉曲線 $C^{(0)}$ デ囲マレ
タ領域内ニ更ニ單一連続閉曲線 $C^{(1)}$
ヲ画キ, $C^{(0)}, C^{(1)}$ ニテ囲マレルニ
次連結領域ヲ D トスル。 D 内ニ
一点 p ヲ固定スル。



シカルトナ $C^{(0)}, C^{(1)}$ ヲツノ
カヲ通ラナイ連続曲線ニテ接続シ,
之レニ沿ツテ D = *Schlitz* ヲ入レタ領域 (單一連結) D
ヲ原点同志對應スル如ク他平面ノ單位円内ニ等角寫像ス
ルモノノウチ, p = フケル *Abbildungsmodul* が
最小トナルニハ, 如何ナル曲線ニテ $C^{(0)}, C^{(1)}$ ヲ接続スレバ
ヨイカ?」

ト云フ問題ヲ考ヘタコトニナル譯デアル。